

2

級に認定します

前回までの級

模範答案

問一 解答欄

試験場	三年十二組	氏名
-----	-------	----

楷書

行書

かな

を	雲	雲
と	海	海
め	無	無
の	事	事
す	御	御
が	見	見
た	舞	舞

問二 解答欄

生きとし生けるものにはすべて個性があり、長所がある。しかも、無限の可能性を秘めている。このすばらしい長所、無限の可能性を伸ばしていけば、必ず一隅を照らす人間になれる。  
(青田 強の文章より)

問三 解答欄

人は何より、経験に学ぶ。  
しかし、経験をどのように生かすか、その学び方次第でそれぞれの人生は大きく変わる。だから経験そのものが貴重なのではなく、そこから何を、どのように学ぶかが肝要なのだ。  
(森本哲郎著「経験の教えについて」より)

問四 解答欄

皇帝 欽明 睿 哲

問五 解答欄

独 → けものへん  
女 → 始  
病 → やまだれ  
言 → 訓  
郡 → おおざと  
水 → 発  
秋 → のぎへん  
走 → 起

級に認定します

前回までの級

2

模範答案

試験場	年	組	氏名
-----	---	---	----

問一 解答题欄

ここん	やま	あり
よろこび		こころは

問二 解答题欄

日本人はくり返し寄せてくる外来思潮に洗われながら、つねに自己に忠実でありえた。この民族的資質があらばこそ最近の西欧思潮の大襲来に遭ってもわれわれは自己の本性を見失わずにすんだのである。

岡倉天心著「日本の自覚め」より

問三 解答题欄

新春のおよろこびを  
申し上げます  
今年もよろしくお願ひ致します  
平成二十九年元旦

問四 解答题欄

永和九年歲在

問五 解答题欄

コ	あ
己	安
シ	き
之	幾
ヒ	ふ
比	不
カ	か
加	加
リ	し
利	之

合否印
合 否
一般部
二段・三段 (イ)
受験段に○印 をして下さい

試験場
二年三組
氏名

問一 解答欄

楷書	行書	草書	隸書
清秋竹露深	清秋竹露深	清秋竹露深	清秋竹露深

模範答案

問二 解答欄

粗  
 之  
 他  
 情  
 の  
 免

問三 解答欄

作品名	時代	筆者
(1) 雁塔聖教序	唐	褚遂良
(2) 風信帖	平安	空海
(3) 書譜	唐	孫過庭

問四 解答欄

万のことは、月見るにこそ慰む  
 ものなれ。或人の、「月ばかり面白  
 きものは、あらじ」と、ひしに、又ひ  
 とり、「露こそあはれなれ」と争  
 ひし、こそ、をかしけれ。折にふれ  
 ば、何かはあはれがらざらん。  
 (吉田兼好「徒然草」より)

問五 解答欄

秋風のそらをれ  
 わたしの心  
 出てあそぶの風